

1 こころ 情緒の安定

「いつでも誰かが見守ってくれている」という安心感が、成長の栄養剤です。心がおだやかになる環境があって、はじめて、教育は成り立ちます。

2 遊び力を育む

こども時代に身につけた、柔軟な発想力や感性は、一生のたからものです。園では、自発的な遊びを主体とした幼児教育を行ない、考え、夢中になり、遊びを深めていきます。

3 ホンモノにふれる

自然、音楽、芸術、食、デザイン、技術、行事、歴史…etc こどもたちの日常に、選り抜かれた一流のモノ、ホンモノにふれあえる環境を。グローバル化がすすむ社会の中で、感性豊かに生きる基盤をつくります。

4 対話する

「園児と園児」「園児と保育者」「保育者と保育者」「保護者と職員」「園児と地域」。それぞれ、信頼関係を築くためのコミュニケーションをたいせつにしています。こどもたちは、対話の中から創意工夫し、対話が深まっていきます。

5 見える化する

登園では、写真や動画、言葉を添えて、園内・ICTに掲示するドキュメンテーションを行ったり、積極的に園の開放日を設けたりして、「見える化」を図っています。こどもの発見や気づき、興味関心を保護者・保育者がともに共有。日々、遊びを深めることができるようになることで、こどもたちの自発性を育み、親子のコミュニケーションにもつながる一石二鳥の取り組みです。



良質な「本」と「デザイン」の出会い。
最先端ICTこども図書館

こどもたちの知的好奇心をくすぐる本の宝庫「めぐみこども図書館」では、絵本はもちろん、児童書や図鑑、しかけ絵本、英語絵本、保護者向けの本・雑誌など、東京のこどもの本専門店『クレヨンハウス』がセレクトした多様なジャンルの本5000冊以上が迎えてくれます。横浜のFydデザイン事務所が手がける木をふんだんに使ったカラフルでユニークな空間は、まるで秘密基地のような。最先端のICTを導入することで、館内の無人化と非接触化を実現。お手持ちのモバイルに入れた専用アプリ（または館内のタブレット）を使って、本の検索から予約、貸出まで、どなたでも簡単＆スムーズに行なえます。

自宅に居ながら気軽に予約・受取ができる!



ホスピタリティあふれる
一時預かりサービス

家事や育児に大忙しで、なかなか自分の時間を取れない子育て中のママやパパをサポート。保育園や幼稚園、こども園に入園していないお子さまを、専用の木育ルームにて一時的にお預かりしています。お預かりは最大5名までの少人数・完全予約制。お預かり中は、木のおもちゃ遊びや本の読み聞かせなど、豊富な経験と資格を持った保育教諭がお子さま一人ひとりにしっかり気を配りながらのしく保育を行ないます。給食も提供。また、自園給食なので、アレルギーや離乳食にも対応。急な用事はもちろん、「ひとりの時間をつくりたい」「のんびりショッピングがしたい」など、ママのリフレッシュにもぜひご利用ください。



見て、聞いて、ふれて、園の魅力と親子で体感
めぐみ木育ひろば

「めぐみこども園ってどんなところ?」「子育ての情報をもっと知りたい!」「育児の素朴な疑問や悩みを聞いてほしい!」当園では、未就園のお子様とご家族を対象に、子どものあそび場、親子での集いの場、地域の子育て発信の場として「めぐみ木育ひろば」を定期的に開催しています。お子さまと一緒に、ご家庭の用途に合わせて、ぜひお越しください。



めぐみこども園 子育て応援プロジェクト
はぐらぼ

はぐくむ心、
ハグから伝わるやさしさ。

未来を担うこどもたちの健やかな成長、
パパもママも楽しみながら子育てができるよう、そっと応援したい。
「はぐらぼ」は、こども豊かな心とからだを育み、パパとママの笑顔を育み、地域の輪を育む場所。
そして、訪れた人をいつでもやさしく包み込む場所でありたいと思っています。



〒918-8047 福井市久喜津町34-1
Tel.0776-36-5057 <http://www.megumihoiku.jp>

めぐみこども園の最新情報をチェック! [めぐみこども園](#) [検索](#)



めぐみこども園 HP



はぐらぼ HP



MEGUMI
k o d o m o e n



BUDS OF CHILDREN

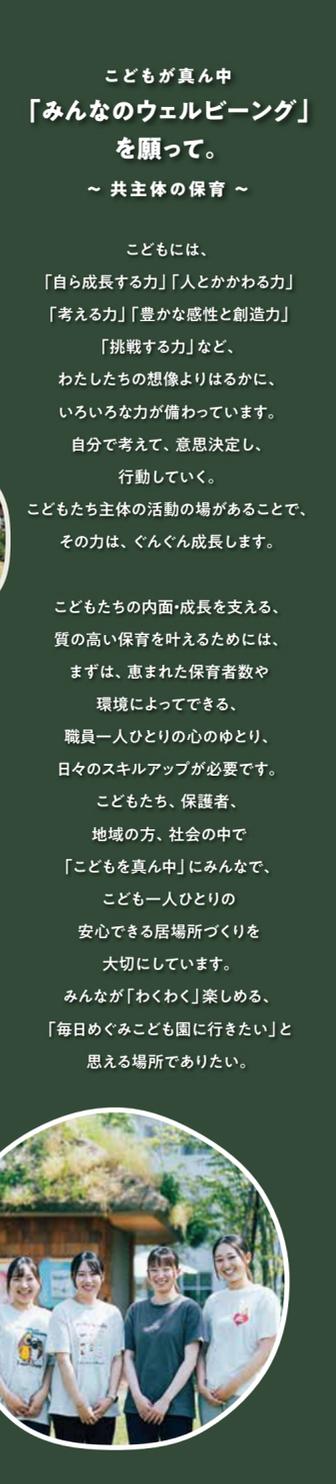
芽がでる、こども園。

無限の可能性を秘めている、こどもたちの未来。
みんな自分だけの「種」を持ってうまれてきます。

はじめは、生命力にあふれたちいさな種。
芽をだし、大地にしっかりと根をはって、
太陽にむかって成長し、自分だけの花を咲かせる。
こどもの育ちは、草花の成長にも重ね合わせるすることができます。

当園では、ご家庭ではできない“実体験の場”として、
一人ひとりの可能性の芽をぐんぐんのばしていきます。





こどもが真ん中
「みんなのウェルビーイング」
を願って。
～ 共主体の保育～

こどもには、
「自ら成長する力」「人とかわる力」
「考える力」「豊かな感性と創造力」
「挑戦する力」など、
わたしたちの想像よりはるかに、
いろいろな力が備わっています。
自分で考えて、意思決定し、
行動していく。
こどもたち主体の活動の場があることで、
その力は、ぐんぐん成長します。

こどもたちの内面・成長を支える、
質の高い保育を叶えるためには、
まずは、恵まれた保育者数や
環境によってできる、
職員一人ひとりの心のゆとり、
日々のスキルアップが必要です。
こどもたち、保護者、
地域の方、社会の中で
「こどもを真ん中」にみんなで、
こども一人ひとりの
安心できる居場所づくりを
大切にしています。

みんなが「わくわく」楽しめる、
「毎日めぐみこども園に行きたい」と
思える場所でありたい。



生きる力をつくる 3つの「育」

木育

心がつながる木とふれあい
豊かな感性を育む。

「木育」とは、普段の暮らしの中に木を取り入れ、「木」が好きな人を「育」てる活動のこと。当園では、暮らしの中に木を取り入れ、身体全体で感じ、こどもたちの心を豊かにしたり、ほっとできる「木育」を取り入れています。園舎や園庭では、木を中心とした情緒の安定につながる、やわらかくて温かみのある空間づくりをたいせつにしています。




監修・協力
■東京おもちゃ美術館／0～1歳児向けと2～5歳児向けの木育ルームの内装デザイン
■(株)生計計画研究所、stgk inc./ (株)スマートエデュケーション
■Le Storie inc./ 0～5歳児空間デザイン

共育

一人ひとりが主体的に
「やってみたい遊び」を探索する

現代の幼児教育で重要とされている好きな遊びで満たされ、こどもが主体となって主体的にやりたいことに取り組む。おとなもこどもも、共に育ちあう「共育」を大切にしています。当園では、外部講師とともにこどもの姿を見ながら、環境構成を行ない、一人ひとりの主体性を尊重しながら、「こどもがじっくり遊びこめる環境になっているかを意識し、「こどもの主体性と「保育者の主体性」をもつ、「共主体」の保育としてバランスを見ながら進めています。保育者はわき役として、こどもに寄り添い、援助が必要な時、手助けする「名脇役」であることがたいせつなのです。




原体験を通しての
食物栽培や調理体験

園所有の畑や田んぼで、お米や季節の野菜など苗植えから収穫までを行っています。園庭には他にも、さまざまな食べられる実や草木が植樹してあります。四季の果実を自分で摘んで、ジュースにしたりジャムづくりやピザづくり、天ぷらなど自分たちで調べて食べる楽しさを体験しています。

食育

食の大切さを知り
「楽しく食べる」体験を。

食べることは、生きること。当園では一人ひとりの生活リズムを大切にしており、一斉におやつや給食の提供はしていません。未満児はこどもの姿を見ながら何度かに分けて提供し、以上児になるとランチルームにて一定の時間の中で自分で時計を見ながら給食を食べます。一人ひとりのリズムやあそびを大切にしながら、自発的な食生活を心掛けています。




自園調理のおいしい給食

当園では、地産地消の自園調理にこだわり、冷凍食品もほぼ使用せず、あたたかくおいしい給食、おやつを提供しています。

- 福井の安心・安全な食材の使用
- 専門の栄養士4名配置
- 栄養士による給食や手づくりおやつ、離乳食・アレルギー対応、栄養価の管理
- ホンモノ志向の器&カトラリー
(越前漆器や越前陶器など福井の伝統工芸を導入)

大きなウッドデッキテラス

「曲線」をテーマにした、県産総ヒノキの広々テラス。みんなで走り回ったり、ウレタン製のオブジェ「水玉遊具」で遊んだり、水遊びをしたりと、いろいろな外遊びが展開できます。

木のおもちゃ

お母さんのぬくもりと同じ温度の木の玩具。想像力をかきたて、脳の働きをよくなる、遊び方の限定されていない木製玩具をはじめ、多種多様なグッドトイを500点以上導入しています。



こどもたちの多様な遊びのフィールド

園内を 探検しよう!

園庭で思いっきり走ったり、おもちゃ遊びをしたり、おいしいごはんを食べたり。木のやさしい香りいっぱいの広い園内は、好奇心旺盛なこどもたちにとって最高の遊び場。いつもこどもたちの元気な声が響く、園の中を少しだけのぞいてみましょう。




大きなウッドデッキテラス

「曲線」をテーマにした、県産総ヒノキの広々テラス。みんなで走り回ったり、ウレタン製のオブジェ「水玉遊具」で遊んだり、水遊びをしたりと、いろいろな外遊びが展開できます。



めぐらす わくわくベース

かけっこも、ごっこ遊びも、どろんこ水遊びも、虫や植物しらべも、落ち葉あつめも……こどもがやってみたい「あそび」が、ぜんぶ叶い、みんなの気持ちにつながる園庭です。



めぐらす わくわくベース

0～1歳児 木育ルーム
池田町100年杉30mm材を基調とした、赤ちゃん向けの木育ルーム。広い床でハイハイしたり、寝転んだりして木の温もりや感触を五感で感じることができます。

2～5歳児 木育ルーム
県産杉無垢材を使用し、「ごっこ遊び」「ちゃぶ台遊び」「感覚遊び」と大きく3つのゾーンに分かれた、こどもの好奇心をくすぐるワクワク空間。木の香りを感じながら、のびのびと活動的に遊ぶことができます。



PICK UP! MEGUMI

質の高い職員が多数。
みんなが「幼児教育のプロ」です。

こどもたちに質の高い教育を提供するためには、職員の「質」と「人数」が重要です。タイムリーな情報共有と、それに向けたカリキュラム構築のため、日本最先端をいく東京の幼児教育専門講師と連携をしております。現在は、東京都より【大豆生田啓彦先生】に、外部研修講師でお越しいただいています。大豆生田先生は、玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授で、日本保育学会福会長など全国様々な役職を歴任され、幼児教育の総合指導など業界において欠かせない方です。そんな先生のアドバイスのもと、保育・教育の見直しを実施しています。さらに生態・食・安全管理のプロなど各分野の専門講師を県外から招いて質の向上を目指し、専門分野の資格を取得するなど、職員のレベルアップに努めています。

また、乳幼児のこどもたちには、人の「目」が充実していなければなりません。当園では、保育教諭配置人数として、国が定める最大の配置人数以上で保育・教育を行っています。当園の保育教諭／在園児170名に対して48名在籍ほか 栄養士4名 調理員2名 看護師1名等 ※2025年4月現在

お昼寝中の乳幼児の寝姿勢や心拍、呼吸などを保育士と午睡チェッカーがダブルチェック

メッシュ素材の「コット」は、通気性がよく衛生的。敷布団を持参しなくていいので保育者の負担軽減にも

外部講師とのコラボ 「めぐみ未来LABO」。

10年後、20年後の未来をたくましく生きる力を育みたい。通常保育だけでなく、外部講師を招き、いろんな実体験ができるパラキュラム構築のため、日本最先端をいく東京の幼児教育専門講師と連携をしております。現在は、東京都より【大豆生田啓彦先生】に、外部研修講師でお越しいただいています。大豆生田先生は、玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授で、日本保育学会福会長など全国様々な役職を歴任され、幼児教育の総合指導など業界において欠かせない方です。そんな先生のアドバイスのもと、保育・教育の見直しを実施しています。さらに生態・食・安全管理のプロなど各分野の専門講師を県外から招いて質の向上を目指し、専門分野の資格を取得するなど、職員のレベルアップに努めています。

細やかなサポート体制

- CoDMON (コドモン)
園と保護者のコミュニケーションを深める連絡帳アプリ「コドモン」を導入。個別連絡や一斉送信。日々の写真の配信。登降園時刻など機能が満載。
- 送迎バス運行拡大
バスの送迎で遠方からも安心して通園。
- 手ぶら登園
「おむつ・おしりふき・紙エプロン手配サービス」 ※家庭からのおむつ・おしりふき・エプロンの準備不要(月額定額で使い放題)

衛生・安全管理の徹底

- オゾンの空気清浄機によるウイルス除去・消臭
- 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒
- 午睡・見守りチェッカー一機材導入
- お昼寝用ベッド「コット」導入
- おしゃべり防止・安全フェンス

園のまわりは防犯、安全フェンスで覆われており、お子様の交通事故防止に努めています。2重扉、屋内外の防犯カメラ、緊急時専用電話の設置など安全、防犯対策にも力をいれています。

【 大豆生田先生書籍 】

大豆生田先生の複数の書籍に当園が掲載されています。

*** 受賞歴 ***

- 【 ウッドデザイン賞2016 】
木育ルームをはじめ、県産材無垢材をメインに活用した園舎が「ウッドデザイン賞」を受賞しました。0～1歳児木育ルームの人気者「樹齢500年杉の削り出しアート」も受賞しています。
※ウッドデザイン賞とは、木の良さを再発見できる製品や取り組みについて、特に優れたものを表彰し、木材利用を促進する顕彰制度です。
- 【 キッズデザイン賞2016 】
2016年、当園の木育に対する取り組みが、「第10回 キッズデザイン賞」を受賞しました。※キッズデザイン賞とは、こどもたちのための成長を促進する取り組みを行っている団体へ贈呈されている顕彰制度です。

*** メディア掲載 ***
福井初! 保育の専門誌に
取り上げられました。

【 保育ナビ 】
幼稚園・保育園・認定こども園などの保育現場をマネジメントする保育者が購読する、月刊専門誌「保育ナビ」(フリーペーパー)

【 保育の友 】
今日の保育課題に取り組み保育所保育の専門誌「保育の友」(全国社会福祉協議会出版部)2020年1月号の特集にて掲載されました。

※保育ナビ、保育の友とは福井県で初という点からも当園の保育内容の取り組みが福井県内で大きく認められている証です。このほかに、先端教育の情報誌への掲載、NHKの木育特集で当園の保育内容が報道されるなど、県内外問わずテレビや日本教育新聞、ベネッセ登録など新聞、雑誌といった幅広いメディアに取り上げられ、注目を集めています。

【 大豆生田先生書籍 】
大豆生田先生の複数の書籍に当園が掲載されています。



【 ウッドデザイン賞2016 】
木育ルームをはじめ、県産材無垢材をメインに活用した園舎が「ウッドデザイン賞」を受賞しました。0～1歳児木育ルームの人気者「樹齢500年杉の削り出しアート」も受賞しています。
※ウッドデザイン賞とは、木の良さを再発見できる製品や取り組みについて、特に優れたものを表彰し、木材利用を促進する顕彰制度です。



【 キッズデザイン賞2016 】
2016年、当園の木育に対する取り組みが、「第10回 キッズデザイン賞」を受賞しました。※キッズデザイン賞とは、こどもたちのための成長を促進する取り組みを行っている団体へ贈呈されている顕彰制度です。

